

木馬会会報 (第 1 3 1 号)

* 皐月賞特集 *

00/04/14

～木馬達の予想～

本紙 ラッキー

◎…ダイタクリーヴァ, エアシャカール

△…ジョウテンブレイブ, ラガーレグルス, パープルエビス

第12代目「本紙」を襲名致しました「ラッキー桑島」でございます。年が変わってからツインターボも顔負けのロケット逆噴射スタートで、早くも30本ばかりヘコんでいる身ではありますが、これも何かの縁と思って気張らせてもらいます。

(本紙の見解)

今週は、牡馬のクラシック第1弾「皐月賞」。Fゼノンの直前回避で、更に小粒なメンバーになってしまったが、敢えてダイタクリーヴァと心中する。ん？ダイタクと聞いて、過去の寝小便を思い出してしまった方も2、3人はいるはず。そう、かつてダイタクテイオーという関西の秘密兵器なるものに痛い目にあった人には「トラウマ」でしょうが、今回のダイタクは一味違う。ローカルのオープン勝ちだけなら印に値しないが、今度のダイタクは、シンザン記念、スプリングSと王道を歩んできた強者、距離が不安と言われるが、今や「狂乱のスプリンター」と化したKヘイローが2着に來たレース、4歳春は距離適正より絶対能力重視と行きたい。

もう一つの軸には、エアシャカールを抜擢する。弥生賞では僚馬エイトゥーレも顔負けの出遅れにもかかわらず、ランニングゲイルばりの大まくりで2着を確保したあたりは潜在能力の高さを示した。中山の2000mを2回走っているのは強み。馬5人5の関係で、豊なら2着にもってくる。

その他では、先週のNZ、桜花賞とも昨年暮れの3歳G1の上位組み合わせだったことから、当時の人気馬Rレグルスを急遽大抜擢する。Pエビスは誰と走っても粘りこむところが魅力。ひ弱な良血Jロバリーの仔にしては、勝負根性があるので注意が必要。

最後は無茶を承知でJブレイブ。調子さえ戻ればまとめてブッコ抜く。しかしやはりダービーで狙ったほうが得策か。

今週の格言…皐月賞は速い馬が勝つ

(ラッキーのおけら街道)

平成6年の天皇賞・春の季節に、森田氏の呼び掛けで発足した木馬会が、早くも6回目のクラシックシーズンを迎えることになりました。苦節6年「ラッキー桑島」が本紙になれるまで、長い間発行を続けていただいて、森田氏には、ただただ感謝するばかりです。

ちなみに源氏名の「ラッキー桑島」とは、今は昔十数年前、週末は後楽園ウィンズ&パチンコ「リリー」、平日は浦和、川崎、大井を転戦していた筆者が、「桑島というジョッキーは人気馬では必ずコケて、冠名がラッキーの人気薄だと突っ込んでくる(地方の小島太とも言う)」という真偽の程は定かでない、おでん屋の前で聞いた話を基につけました。一時期「なにわのラッキー」なる「まがい物」が出回ったようですが、一切関係ございません。

ここで、ラジオ短波の最終レース前ではございませんが、少々馬話を…。木馬会最初のクラシックシーズンである平成7年の話題といえば、地方への門戸開放とサンデーサイレンス旋風でした。3歳王者のフ

ジキセキが、トライアルを圧勝し、2冠(皐月賞と東京優駿)は確実と思われた矢先、突然の引退。群雄割拠の中、押し出されるようにダイタクテイオーが一番人気になったものの惨敗、その同じ馬主が、フジキセキの仔で皐月賞に挑むのは、なんとも因縁深いものです。また、確か2番人気だったホッカイルソーは、未だに現役で頑張っているのには敬服します。

今年の皐月賞は、個人的には、高価な一流血統の馬を金の力で買いあさっているS口F朗氏(ダービーオーナーであることも事実)の馬よりも、日本固有のスピード血統(ネヴァービート、テスコボーイ)を重視し、安価な種馬から素晴らしい馬を生産した太陽Fに勝たせてあげたい。ダイタクヘリオスがダイイチルビーやシンコウラブリーに影をも踏まなかったように…。

まあ、しかし、人を憎んで馬を憎まず。全馬無事に走って欲しいものです。

などと原稿を書き終えたところにFゼノンの直前回避の知らせ。なんでも故障ではなく調教の動きが満足できないからとのこと。要則3冠(皐月賞、マイル、東京優駿)も狙えた逸材だけに残念でもあるが、調教師の勇氣には敬服する。今年も皐月賞は、弥生賞馬は死に目になった。が故に東京優駿では注意が必要である。FゼノンとJブレイブの一点だなりゃ。

今週の辛口メモ…先週は、競馬は馬だけの力じゃないということを改めて考えさせられました。

頑張れ石山、福永や渡辺だって最初はそうだった。勝春は今だにそうだ。

村田てめえいい加減にしろ!!

全く北村といい、幸四郎といい、どいつもこいつも…(私事で恐縮です)

～ライスシャワシャワの予想はよそう～

◎: ダイタクリーヴァ、○: ラガーレグルス

▲: アタラクシア、△: エアシャカール

フサイチの回避には驚いた。日常的に扱っている者しかわからない不調とのことで、田原らしい理由。本命にする予定だったので、ちょっと拍子抜け。しかしながら、弥生賞組VSダイタクという図式は変わらないと思うので、印もこれらの馬へ。

◎ダイタクリーヴァ。スプリングSがああレース内容なら1F伸びる本番とて問題なからう。桜花賞の石山ではないが、高橋亮というのが気になる程度で、馬自身には特に欠点も見当たらない。

○ラガーレグルス。府中コースの方が良いのは確かだろうが、スタートしなかった共同通信杯を除けば、堅実な競馬をしており、格上の存在であることには変わりない。

▲アタラクシア。小倉の2000m→すみれS2200m勝ちと距離伸びて連勝している点をエアシャカール以上に評価したい。素質は認めても前走の入れ込み具合では、良くなるのはもう少し先になりそうなエアシャカールは△まで。

さて、土曜日には中山グランドジャンプもある。今年から障害のJCとなったわけだが、JC以上にわけのわからない外国馬が出てきてお手上げ状態。迎え撃つ日本馬もイマイチのメンバー構成。どうも外国馬はパワー型みたいなので日本には向かないと決めつけて、JC同様地の利から日本馬に期待。ゴーカイからいこうかな。でも見るレースにした方が良さそう。

外しまくっている今日この頃…、いや、ずーっとか。

今まで投資してきた馬が、突っ込んで来るとショックなので投資額を考慮した予想にしました。

本命◎は、ラガーレグルスとエアシャカール。ラガーレグルスは、かける期待が大きかっただけに、これまでに裏切られた代償も大きかった。チトセオーを買わなかった怨念かなあ、という気もしますが…しかし、この馬、ゴール前でゴチャゴチャと混戦になった場合には、グイッと前に出る底力もあるように思えます。前走のエアシャカールは、コーナーでのマクリに極めて強い印象を受けましたが、ラガーレグスの切れ味は、その強いエアシャカールに負けていない印象を受けました。両者共々スタートをまともに出ることを祈っています。

怖いのは、ジョウテンブレブとアタラクシア。切れる感じはない2頭ですが、去年の皐月賞の頃のオペラオーのように「強い」印象。あと半信半疑なのは、ダイタクリーヴァ。大して強そうに見えないのにアッサリと勝ってしまうのは何でなんだろう？これが本当に強いということなのかな？それとも相手が弱すぎるんだろうか。タイムはナリブー並みだしなあ……。と、悩ますことしきり。人気だけど△。というわけで

◎ラガーレグルス、エアシャカール

△ジョウテンブレブ、アタラクシア、ダイタクリーヴァ

馬券は、ラガーレグルスとエアシャカールを大本線にします。

メニーフレンズ

僕の予想は穴だらけ。

週末のお天気はどうなんだろう。東京は一雨降りそうである。相変わらず中山の芝は悪そう。こんな時は「過去のデータ」はあてになりにくい。もともと皐月賞はそんなに荒れないレースではあるが、妙に穴党の血が騒ぐのだ。

そこで私の本命はリワードフォコン。いずれ三戦ともスローペース。それで上がり35秒前後の追い込みで微差のレースが続いている。何といても、前走はわざわざ権利取りのため、関西へ遠征した根性が気に入った！はっきり言って、こういう馬は強い！2000メートルは得意としているし、中山、重はこなすし、今度は相性のいい後藤の手に戻ってくることだしetc.大きく単勝で勝負しちゃおうっと！

◎…リワードフォコン ○…ヤマニンリスペクト

△…エアシャカール、クリノキングオー、ダイタクリーヴァ、タイムリートピック、ジョウテンブレブ、ラガーレグルス

栄蔵の一番弟子 TP

ダイタクリーヴァ VS 弥生賞上位3頭といわれていた今年の皐月賞。エア以外は好位につける器用さとスピードを持っており、とても荒れる要素はないと思っていたところにフサイチの回避。だが、基本的にはダイタク、エア、ラガーに優位であることに変わりはないだろう。

この3頭の中でどれを本命にするかだが、エアはスタート直後が鈍いのでどうしても後方からのレースになり、展開に左右されがち。武もダービーを睨んだ騎乗をしているように思えてならない。ダイタクはほとんど非のうちようがないが2000mの経験がないのがちょっと不安。ということで、本命は3番人気確実のラガーレグルスとする。他の2頭は休み明けで上積みがあるであろうが、この馬も前走前はゲート練習中心で緩めの仕上げ。上積みはある。弥生賞でエアと差がないのに離れた3番人気(6、7倍)になるは

ず。去年のオースミと一緒に、そろそろ限界かなと思われた頃に走るパターンにはまる。皐月賞ではある程度の早熟性も必要である。

その他ということになるが、ジョウテンは4着とはいえ、前3頭には大きく離されていた。パープルは展開厳しく、逃げ切れるほどの力量もない。というわけで、まずアトラクシア。前走見事だし、切れのある走りをする。しかし前走出走馬のレベルは低いし、混戦の経験がないのが不安。あとはリワード。前走は外国産に混じって良い切れを見せた。出走馬のレベルはなかなか高かった。しかも、中山で暴れまくっている後藤騎乗もプラス。若葉S組からクリノとタイム。タイムは翌週の毎日杯より速いし、出走馬のレベルも少なくともすみれSよりは断然上。

◎…ラガーレグルス、○…ダイタクリーヴァ ▲…エアシャカール

△…アタラクシア、リワードフォコン、クリノキングオー、タイムリートピック

今週はもう1つG1がある。外国馬を交えた国際レース、中山グランドジャンプだ。第1回ジャパンカップの時の気持ちとはこんなものだったのだろうかと考えるに、非常にワクワクして楽しみだ。馬券的にはあまり張れないけれど、東京にいたら必ず見に行くだろうレースである。やっとのことで障害G1をメインに据えたJRAの決断も誉めてつかわそう。

予想としては、スタミナ争いの海外の障害とはまるで異質の、スピードも必要な日本の障害では、断然日本馬が有利と見る。持ちタイムで30秒近く違う馬もいる。あえていうならスピードがあるアメリカと豪州の馬か。さてさて、外国馬はどういうレースをするのか？日本馬がぶっちぎるのか？見逃せないレースである。

◎…ゴーカイ ○…ノーザンレインボー ▲…ファンドリロバリー

△…メイショウワカシオ、メイビーラフ、ナインピンズ

先週は阪神に行ってきた。とてもきれいなところで、A指定席も二人に1台モニターがありとても有効だった。関西人と関東人の気質の違いというか、感じたのが、まず、第1レースから混んでいること。それとなんと、レストランがお昼休みも40分を超えると一気に空くことだ。とても中山では考えられない風景だった。現在の回収率95.1%

予想はウソヨ 四国の井崎

フサイチゼノンの回避でつまらなくなってしまった。最高のお客様になるとの信念があっただけにすごく損をした気分だ。1人気をバッサリ切るというのが予想の売りの予定だったので、結果的に人気サイドの予想になってしまう。

◎はダイタクリーヴァとスプリングSの前から決めていた。そしてスプリングSが8分仕上げで楽勝し確信となった。素晴らしい馬体だ。筋肉の柔らかさがなんとも言えない。とても利口な馬に思える。おばあちゃんのネヴァーイチバンは大好きだったダイタクヘリオスの母だ。タイムが図抜けていない点に少し心配な面もあるが惚れ込んだんだから買います。

怖いのはエアシャカールだ。弥生賞は最も強い競馬をしたと思っている。調教も動いた。上昇一途だ。タイム評価Aはパープルエビスとなったが、ジェイドロバリーに2000mのG1は無理だろう。それよりも去年のオペラオーに上がり馬の度合いが似ているアタラクシア。首の下がったフォームは非常にいい。あとはジョウテンブレブ。こいつはダービーで狙おうと思っているが、ラガーレグルスと一緒に一応押さえよう。

◎ ダイタクリーヴァ ○ エアシャカール ▲ アタラクシア

△ ジョウテンブレブ ラガーレグルス

(タイム評価)

900万クラス時計揭示馬

エアシャカール	-0.9	-2.9	+0.5	C
エリモブライアン	-1.8	+0.5	-1.3	
ジョウテンブレーヴ	-1.5	+0.5	-0.5	
ラガーレグルス	-0.7	-0.9	+0.5	

500万クラス時計揭示馬

パープルエビス	+0.3	+0.3	+0.2	A
ダイタクリーヴァ	-1.0	+0.3	+0.3	B
アタラクシア	-0.9	-0.8	+0.1	
カネツフルーヴ	+0.3d	+0.2	-0.2	
トップコマンダー	+0.1	-0.5	-0.3	
クリノキングオー	-2.9d	-0.9	+0.2	
タイムリートピック	-0.5	-0.8	+0.1	

第60回 皐月賞

			18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
			マイネルコンドル	クリノキングオー	エアシャカール	ヤマニンリスベクト	チタニツクオー	アタラクシア	ニシノアラウンド	トップコマンダー	エリモブライアン	カネツフルーヴ	マイネルチャージ	リワードフォコン	タイムリートピック	パーピルエビス	ピサノガルボ	ダイタクリーヴァ	ジョウテンブレーヴ	ラガーレグルス	馬名
			伊藤直	幸	武豊	柴田善	角田	四位	藤田	和田	的場	松永幹	岡部	後藤	熊沢	石橋	横山典	高橋亮	蛭名	佐藤哲	騎手
					◎											△		◎	△	△	ラッキー
				△								○		△		▲		◎	△		心配御無用!
					△			△										◎	◎	△	へなりん
					◎			△				△		△				○	△	▲	トウインクルダンディ
					△			▲										◎		○	ライスシャワー
					◎			△										△	△	◎	洋二郎
					△	△		△			△					△		△	◎	△	おけらくん
					△							△	△						◎	◎	ミスターX
				△	▲			△						△	△			○	◎	◎	TP
				△	△	○								◎	△			△	△	△	メーブルズ

	皐月	天春	NHKマ	高松	オークス	優駿	安田	宝塚	秋華	天秋	菊花	エリ	女マイルC	JC	阪牝	朝日	スプS	有馬	フェ	高松	桜花
ラッキー	○	○				○		○			○	☆	○		○				○		
心配御無用!	○	○			◎	○		○			○		○				○			○	
へなりん					◎	○		○		○			○		○				○		○
トウインクルダンディ	○	○				○		○		○			○		○		○			○	
ライスシャワー	○					○		○		○			○		○		○			○	
FELA	○					○		○		○			○		○				○		
洋二郎	○	○				○		○		○			○						○		
おけらくん	○					○		○		○			○				○			○	
ドロシヨ	○					○		○		○			○						○		
ミスターX	○					○		○					○							○	
TP	○					○		○					○				○				
メーブルズ					◎															○	☆
YO	○					○															

○...~20倍 ◎...20~50倍 ☆...50倍~

次号は天皇賞・春号です。